



しばた議会だより



ヤー! きまったネ

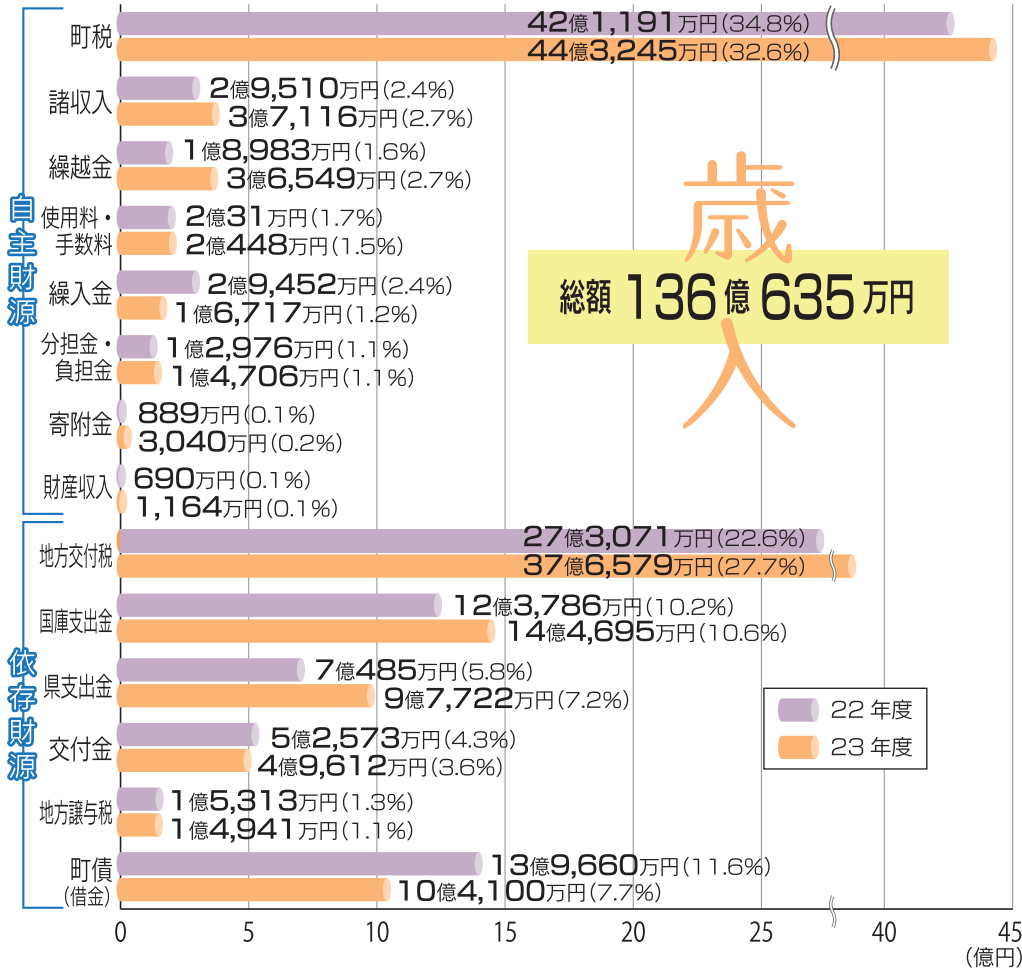
保育所の運動会

- 平成23年度決算 2・3
- 総括質疑 4
- 決算審査特別委員会 5~7
- 不二トッコン跡地購入予算を採決 8
- 9月補正予算、教育委員、人権擁護委員を選任 9
- 定例会出席・表決状況一覧
- 議会懇談会 一般懇談会、柴田町文化協会との団体懇談会 10
- 一般質問・掲載できなかった質問 11~18
- 常任委員会レポート 19
- あなたの一言(荒井けさ子さん) 20

健全か

財政指数は
順調に改善

認定
128億円

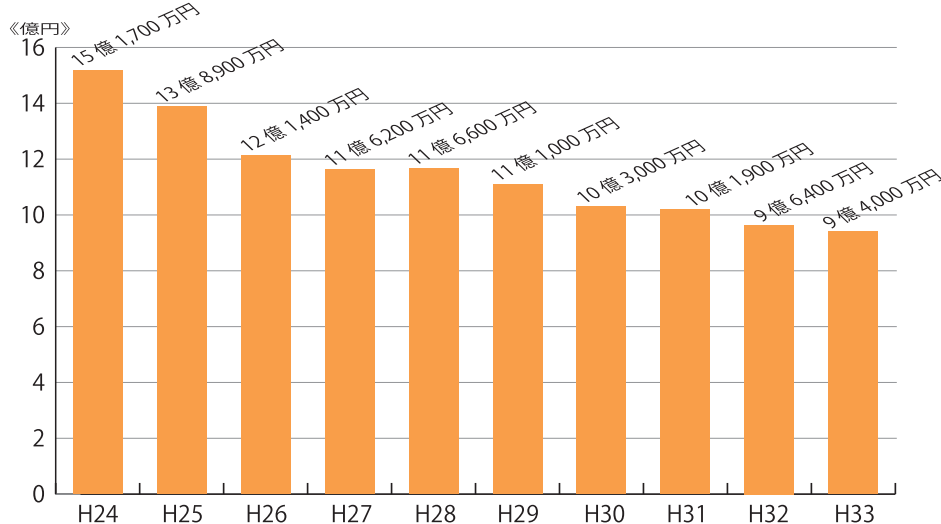


平成24年9月議会は、9月3日から13日までの会期で開催されました。平成23年度の一般会計及び各種特別会計、水道事業会計の決算では3人の総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、詳細にわたり審査した結果、すべての会計を原案どおり認定しました。

このほか、条例6件、補正予算6件、人事案件4件など（9ページ参照）を原案のとおり可決・同意しました。

一般質問は、9月3日から5日までの3日間で行われ、14人の議員が質問し、項目数は26件でした。

本年度以降の公債費の推移



※グラフは、平成24年7月現在の推計です。

※さくら連絡橋建設、総合体育館建設（用地先行取得を含む）に関わる公債費も含んでいます。

借金支払い、ゆるやかに減少

左のグラフが示すとおり、公債費（借金年度支払額）は、年々ゆるやかに減っていく状況にあります。

平成24年度と25年度を比較すると、1億2,800万円減り、平成24年度と10年後の33年度の比較では、5億7千万円減る予定です。

今後、財政運営のうえで借金をすることがあっても、適正な範囲を守り運営することが大事です。

平成 23 年度 一般会計 決算

財政運営は



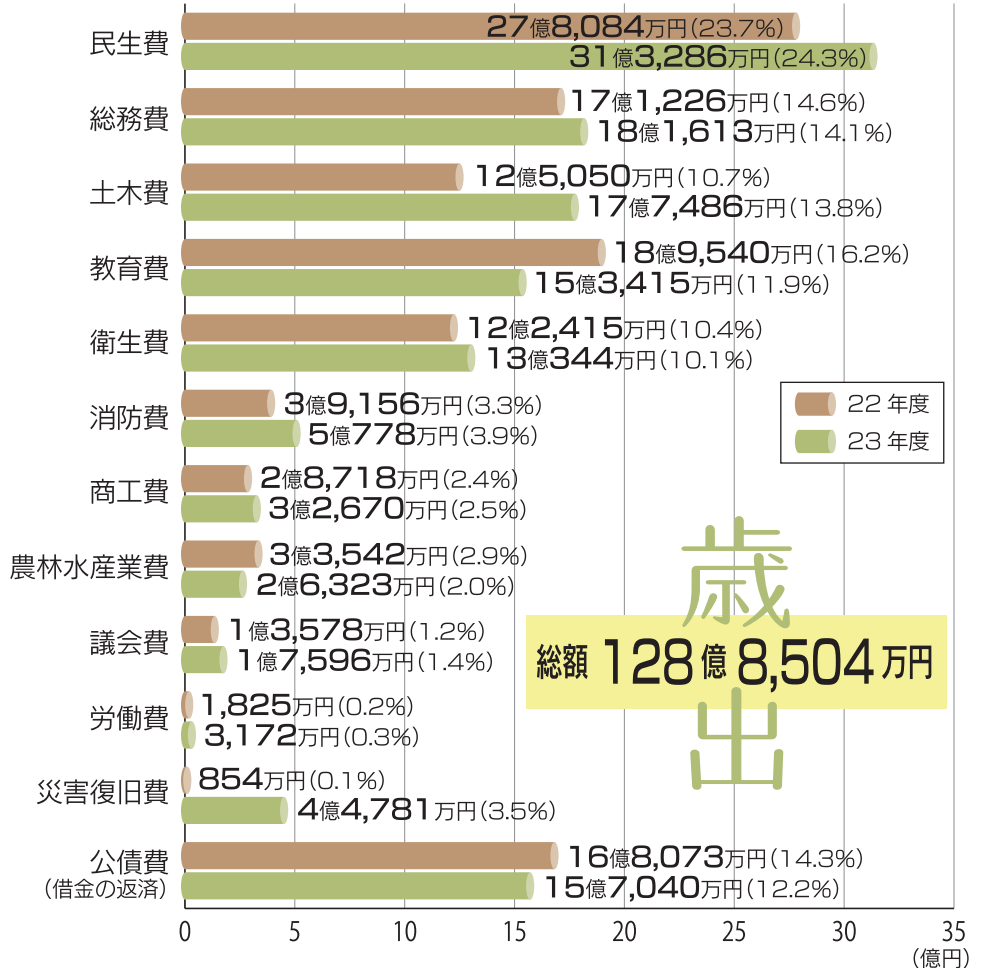
槻木中学校校舎改築工事



観光物産交流館



北船岡町営住宅 2 号棟新築工事



歳
出

ある。一般会計予算で（仮称）さくら連絡橋基本設計の予算がついたが、町民の賛否が分かれる中、震災の混乱状況で進めたことが今日の混乱を招いている。

震災関連の多くの復旧・復興事業、槻木中学校改築をはじめ大型事業に着手、意欲的な取組みがなされた。財政調整基金や町債等管理基金に、合計4億円を超える積み増しを行うなど健全な財政運営が図られたと判断する。

反対討論

広沢 真議員

平成23年度予算は震災の混乱の中、審議を省いて可決した経過がある。

賛成討論

高橋たい子議員

討論 認定第1号 平成23年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について

柴田町の財政は

健全化判断指数

町長から報告された健全化判断比率を紹介します。

○実質公債費比率

22年度 14.1%
23年度 13.0%

※数値が大きいほど固定経費、借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

○将来負担比率

22年度 84.3%
23年度 64.8%

※数値が少ないほど将来の負担（借金の支払いなどが減っていく）が少なくなります。

左図から、前年度と比較すると一般会計からの借金の支払い額の割合と、将来負担することとなる借金の割合が改善されていることが読み取れます。今後も、借金残高を増やさない努力が必要です。

町財政は少しずつ改善

総括質疑



平間奈緒美 議員

問 第5次柴田町
総合計画の
進捗状況は

(1) 個人町民税は40割の減収となる。今後団塊世代の退職者が増加することによる影響と対策は。

(2) 震災からの復旧関連事業では、被災住民の生活支援策が行われた。成果は。

(3) 第5次柴田町総合計画における各プロジェクトの進捗状況は。

(4) 健康づくりにかかる事業の今後の展開は。

(5) 災害時における給水場所や給水活動の方法など、非常時に住民が慌てないための施策について、今一度詳しい説明を。

答 各重点プロジェクトの
成果を十分発揮

(1) 税収の対策を強化し、前年度収納率の確保に努め、歳入予算の確保を図る。

(2) 町独自の政策として、震災復興商品券・震災住宅改修事業補助を実施した。震災復興の事業目的が達成できた。

(3) 各重点プロジェクトの成果を積極的かつ効果的に関連づけ、町の魅力をアピールし展開していく。

(4) 関係部門が連携し、包括的な支援に取り組んでいく。

(5) 1丁の給水タンクを28個と発電機と給水ポンプ4台を準備。さらに応急給水マニュアルを作成。

総括質疑



佐久間光洋 議員

問 実質収支比率が低い
値だ。健全とさ
れる範囲におさめ
る努力が必要では
ないか。

平成23年度は、大きな災害に見舞われ、財政にも大きな変動があった。震災復興特別交付税の交付により、前年度比10億3千500万円の大幅な増加となり、一般会計の歳入は136億円の規模となった。予算執行の実績報告で財政指数が載っており、財政力指数、経常収支比率、地方債現在高比率などはおおむね良好な範囲に入っているが、実質収支比率はかなり低い値となっている。健全とされる範囲におさめる努力が必要なのではないか。

答 財政調整基金へ積
み立てたため、実
質単年度収支では
黒字となる

財政指数は地方公共団体の財政運営の良否を判断する数値である。実質収支比率とは、決算剰余金額により大きく左右されるが、本町ではこの決算剰余金等の留保財源は年度末に財政調整基金等に積み立てを行う。平成23年度決算では、決算剰余金見込み3億4千189万円の全額を財政調整基金及び町債等管理基金へ積み立てを行った。実質単年度収支を見ればわかると思うが、今回2億3千497万8千円という数字になっている。平成16年度以降は黒字なので、ご安心をいただきたい。

総括質疑



星 吉郎 議員

問 大型プロジェクト
で資金繰りの見通
しは

国の経済危機対策が追い風となり色々な事業が進められている。槻木中学校改築、北船岡町営住宅2号棟建設、槻木・船岡両保育所の大規模改修工事、船岡城址公園整備事業を含む、社会資本整備事業等の大型事業、その他に、最近になってトツコン跡地の土地取得、町民体育館建設、子どもセンター建設事業が進められようとしている。これらの資金繰りの見通しが立ったとしているが、どのように進められるのか伺う。

答 資金繰りに
支障はない

これから大型の投資事業を進めることで、地方債残高(借金)が一時的に増額となる。しかし毎年の公債費の返済は、平成24年度当初予算で、公債費15億2千万円となっており、これから借金をしても上回ることはない。加えて、9月議会で可決した補正予算後においても、財政等の貯金は、9月現在で8億円の財政調整基金があり、資金繰りに支障はなく、財政面での健全性は十分保てると判断している。

税金の

使い道をチェックしました

決算審査特別委員会

9月7日決算審査特別委員会を設置し、平成23年度の一般会計、各種特別会計及び水道事業所会計について、9月10日から12日までの3日間、集中審議を行いました。質疑の内容の一部を紹介します。

歳入

未納金、欠損金増加の内容は

質疑 町営住宅家賃使用料の不納欠損金が前年に比して増加しているが、内容は。

答弁 本人の死亡、保証人の関係、自己破産等で徴収できないものを処理した。

実質公債費比率と震災復興特別交付税との関係は

質疑 実質公債費比率が前年比1.1倍下がっているが、震災復興特別交付税などが影響しているのか。

答弁 復旧・復興の財源は、地方債にならなかつたので、影響はない。

臨時財政対策債の残高は

質疑 臨時財政対策債の債務の残高はどれくらいか。

答弁 償還していない金額が47億円である。

税の未納者対策は

質疑 町民税、法人税、固定資産税等の未納の件数と、今後の徴収の見通しは。

答弁 個人住民税1千610人、法人24社、固定資産税597人、軽自動車税422人で、合計2千653人である。徴収の見通しとしては、誓約しているものについては、古いものから順次徴収し、現年度は、督促をし、古いものは誓約どおり支払うという誓約をして、徴収できるように努めていく。

債務負担行為の限度は

質疑 債務負担行為の限度はあるのか。

答弁 全体事業が町の財政規模に、相応なものかを見れば、債務負担の適正な額が出るので、金額そのもので限度額という考えはしていない。

歳出

女性管理職登用のための研修を

質疑 女性が管理職に任用されるような研修が必要ではないか。

答弁 大事なことなので、研修を積む機会を設ける。

支援物資の賞味期限切れはないのか

質疑 自主防災組織への支援物資で、非常用食品

の賞味期限とその対応は。

答弁 水は平成25年3月で、レトルト食品については平成26年4月となっている。それぞれ町で補填していく。

町道管理作業の遅れは職員減の影響か

質疑 定員適正化計画を進めている中で、町道の管理作業が遅れているのは、職員減に関係ないか。

答弁 担当部署の事業の内容、業務の内容で、遅れているものと思う。



草が伸びる時期はたいへん

防犯灯をLEDに

質疑 防犯灯の球切れ及び自動点滅器交換の際、LEDを使用したのか。
答弁 球切れについては、40キロワット以下のところはLED化を優先的に実施。

町ホームページの活用は

質疑 柴田町のホームページの今後の活用について問う。
答弁 柴田町のイメージとなるものなので、常に最新情報を発信していく。

情報の出し方の工夫は

質疑 広報・公聴事業で、町の情報の出し方が悪いというような批判があるようだが、今後改善を考えているのか。
答弁 議会に説明した段階で、タイミングを見て知らせたい。

廃油回収ボックスの活用は

質疑 廃油回収ボックスを設置しての問題は。
答弁 引き取っても再生するシステムが本格的に稼働されていない。

買い取った土地の活用は

質疑 家屋補償事業で、西船迫の買い取った土地を今後どうするのか。
答弁 沈下補償の土地で、多くは隣家の方に庭を広げるといふ形で協議する場が多いが、現在はその協議は行っていない。

薬剤散布中止の影響は

質疑 震災のため家庭薬剤散布が中止となった。実施しなかったことによる影響はなかったのか。
答弁 中止したために大幅に環境が悪化したということはない。

概要と設置場所の検討は

質疑 大型児童センター調査で、その概要と設置場所についての検討はなされたのか。
答弁 先進地視察を行い、アドバイスを参考にしたと考えている。場所については、基本的に船迫児童館の老朽化に伴う建て替えが前提となることから、現在の場所と考えている。

質疑 成年後見人制度の利用・支援事業の実績が0件となっている理由は。
答弁 この制度の申請は、身寄りの方、家族、兄弟が手続きを行う。行政が行うのは、身寄りのない方が対象となるので、非常に希有なものだと思う。

なぜ利用されないのか

概要と設置場所の検討は

質疑 大型児童センター調査で、その概要と設置場所についての検討はなされたのか。
答弁 先進地視察を行い、アドバイスを参考にしたと考えている。場所については、基本的に船迫児童館の老朽化に伴う建て替えが前提となることから、現在の場所と考えている。

会員減少の理由は

質疑 老人クラブの会員数が減った理由をどうとらえているか。
答弁 新規加入者の減少と会員の高齢化、役員となり手がいないなど聞いている。

概要と設置場所の検討は

質疑 大型児童センター調査で、その概要と設置場所についての検討はなされたのか。
答弁 先進地視察を行い、アドバイスを参考にしたと考えている。場所については、基本的に船迫児童館の老朽化に伴う建て替えが前提となることから、現在の場所と考えている。

質疑 成年後見人制度の利用・支援事業の実績が0件となっている理由は。
答弁 この制度の申請は、身寄りの方、家族、兄弟が手続きを行う。行政が行うのは、身寄りのない方が対象となるので、非常に希有なものだと思う。

なぜ利用されないのか

概要と設置場所の検討は

質疑 大型児童センター調査で、その概要と設置場所についての検討はなされたのか。
答弁 先進地視察を行い、アドバイスを参考にしたと考えている。場所については、基本的に船迫児童館の老朽化に伴う建て替えが前提となることから、現在の場所と考えている。

会員減少の理由は

質疑 老人クラブの会員数が減った理由をどうとらえているか。
答弁 新規加入者の減少と会員の高齢化、役員となり手がいないなど聞いている。



町内各施設に設置しています



イノシシに荒された豆畑

イノシシ等の被害状況は

質疑 町内のイノシシ、カモシカ等の被害状況は把握されているのか。
答弁 自家野菜等について相当の件数被害があった。一部の田んぼにも被害が及んでいる。これから水稲への被害が出てくることを危惧している。

夜間救急外来体制の議論は

質疑 以前から指摘していた中核病院の夜間救急外来の体制について、議論の場はなかったのか。
答弁 仙南の地域医療対策会議で、平日夜間の一次救急の診療所について議論を重ねている。

(除去前)



(除去後)

スクールゾーンの安全確保を

質疑 スクールゾーン内危険ブロック塀除却事業で、残りの6件はどのような状況になっているのか。

答弁 今後努力して、なるべく早く除却、または別のものに新設できるように指導する。

未着工の理由は

質疑 農地転用許可調査で未着工が3件あるが、なぜか。

答弁 家庭の事情、資金

繰り等で未着工となっている。

風評被害の現状は

質疑 放射能の風評被害の現状はどうなっているか。

答弁 柴田町は、丸森、白石、角田よりは風評被害は少ないのかと認識している。農産物では、シイタケ、コゴミが出荷自粛となった。

プレミアム商品券の使用先は

質疑 プレミアム商品券の利用状況は。

答弁 地元スーパーが66・81軒、石油ガス小売業5・22軒、他の小売業5・85軒、他は2軒台にとどまった。

排水ポンプは確保できているか

質疑 大雨時の排水作業に関して、排水ポンプが必要になった場合、何台確保できるのか。

答弁 町で2台、業者6台、トータルで8台あり、その地域ごとに手配している。

けやき教室の利用は

質疑 けやき教室の利用は、なぜ進まないのか。

答弁 白石に移ってから、柴田町内だけでなく、管内も少ない状況にある。

分水門の早期完成は

質疑 稲荷山用水の分水門は、いつできるのか。

答弁 名取市での除塩のため水を流しつづけているので、止めて工事ができず、遅れている。早期着工に努める。



分水門予定地

コミュニティ・スクールの実情は

質疑 東船岡小学校で取り組んでいるコミュニティ・スクールの報告内容が、前年度とほとんど同じ内容になっているが、変わったことはなかったのか。

答弁 指定期間があるので、結果同じような表記となった。次年度に向け、精査し対応していく。

町民体育館をどうするのか

質疑 町民体育館の解体を早くすべきではないか。

答弁 災害にかかわる瓦礫、公共物の解体作業の申請を進めている。査定が入り、全額国費での解体が認められないと、早期の解体は難しいと判断している。



立入禁止となっている町民体育館

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災から学んだ教訓を踏まえ、今後再び予想される大震災に備えるため、防災拠点として不二トツコン跡地を取得することになりました。

「健康と交流を育む都市防災公園」として整備を進めていく計画となっています。



＝土地の概要＝
敷 地：不二トツコン工場跡地
所 在 地：柴田町大字船岡字上大原地内
敷地面積：30,614.40㎡ (9,260.85 坪)

4億4,000万円

防災公園・総合体育館整備のため 不二トツコン跡地取得へ

質 疑 売買契約はいつごろか。

答 弁 12月頃を予定している。

質 疑 広報しはた9月号で「スポーツ・文化整備ゾーン」整備方針が掲載されている。

答 弁 計画を進めていく上で、住民との協議が必要と考えるが、町の見解は。

質 疑 基本的にはまだ試案の段階。今後のスケジュールも含め、町だけでなく、機会あるごとに住民説明会、意見交換会、各種団体などの意見のすり合わせをし、一つの防災公園として計画を進めていく。

賛成討論

安部俊三議員

柴田町は次のステージに向け動き出している。コンパクトシティの実現のため、あわせてスポーツ都市宣言を踏まえ、健康スポーツ活動の一層の進展を図るためにも、この土地の先行取得は実現すべきと考える。

賛成討論

広沢 真議員

不二トツコン跡地を取得にするにあたって、事業の優先順位、今後の町財政への影響、町民の要望などを考慮し、町民の望むほかの事業を進めることに対し、大きな影響はないと考え、購入に賛成することにした。

増額補正

除染対策費、防犯灯新設工事費など

5億3,000万円が計上され、原案とおり可決しました。

平成 24 年度
9 月補正予算

平成 24 年度 補正予算

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	5億3,081万円	132億7,768万円
特別会計		
国民健康保険事業	2億6,988万円	41億7,372万円
公共下水道事業	1,178万円	13億5,333万円
介護保険	5,932万円	22億5,346万円
後期高齢者医療	81万円	3億3,659万円

※不二トツコン跡地土地取得は含まず

補正予算の主な内容

町道改修工事	3,000万円	下水道災害復旧関連工事、道路の舗装打ちかえ、側溝改修など
放射能対策事業	3,989万円	除染対策費
防犯灯新設工事	167万円	LED設置 LED灯33灯 設置場所は三名生地区幹線、東船岡幹線、むつみ学園

2施設トイレ改修工事へ

質 疑 船岡駅、上川名構造改善センターのトイレ改修工事の概要は。

答 弁 船岡駅は、凍結防止のためのパネルヒーター、入口ドアの設置。さらに桟まつり関係の反省から、混雑解消のため、女子トイレを1基増設し、全て洋式にする。

上川名構造改善センターは、現在和式で汲み取り式トイレを合併浄化槽化と洋式化を図る。

図書館に駐輪場設置

質 疑 図書館駐輪場設置工事の概要は。

答 弁 自転車で来館する際に利用の多い子どもたちが雨にぬれないよう屋根つきの駐輪場を設置する。場所は産業展示館の研修室の北側を予定。



柴田町の園芸を担うハウス

農業振興のさらなる支援を

質疑 災害で被害を受けたビニールハウスへの支援は。

答弁 4月に発生した爆弾低気圧の影響で被害を受けたビニールハウスの再生を支援していく。

質疑 集落営農水田担い手事業の詳しい内容は。

答弁 10畝以上水稻を経営している生産組合、担い手認定農家に対して4分の1を補助する事業。今回農家より光選別機、コンバイン、もみすり機、乾燥機など7台申請があり、補正予算措置をした。

人事案件

○人権擁護委員の推薦に同意

菅野敏明氏(新任)
(槻木字焼檀)

飯淵直子氏(再任)
(槻木上町一丁目)

○教育委員会委員の任命に同意

我妻一雄氏(再任)
(槻木東二丁目)

牛澤典子氏(再任)
(西船迫二丁目)

本会議出欠状況・議案等審議結果

●本会議出欠状況

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。
※決算審査特別委員会中、「監」は説明員(議会選出監査委員)として出席していることを表す。
※議長は決算審査特別委員にはならない。

区分	主な内容	月日	出席者数 欠席者数	出 欠 状 況																
				平岡泰精美	佐々木孝	佐久間光洋	高橋たい子	安部 俊三	佐々木守	佐 真	真 光	水 裕	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	星 吉郎	加藤 亮明	大沼 博義	白内葉子	我妻 弘国
(平成24年) 第3回定例会	本会議	町政報告、一般質問	9.3	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	9.4	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	9.5	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例、補正予算等	9.6	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決算審査特別委員会	平成23年度各種決算上程・総括質疑	9.7	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		正副委員長の互選等	9.7	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度決算認定審議	9.10	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度決算認定審議	9.11	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度決算認定審議	9.12	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成23年度決算認定採決、条例、補正予算	9.13	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

●議案等審議結果

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。
※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議長にいないため表決に参加していないことを表す。

区分	件 名	議決月日	表決者数 賛成数	賛成	議決結果	表 決 状 況															
						平岡泰精美	佐々木孝	佐久間光洋	高橋たい子	安部 俊三	佐々木守	佐 真	真 光	水 裕	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	星 吉郎	加藤 亮明	大沼 博義	白内葉子
平成24年 第3回定例会	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度柴田町一般会計補正予算)	9.6	16	16	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.6	16	16	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9.6	16	16	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	教育委員会委員の任命について	9.6	16	16	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	教育委員会委員の任命について	9.6	16	16	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律の施行に伴う宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	柴田町暴力団排除条例	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	柴田町復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	柴田町東日本大震災復興特別区域法第28条第1項の規定に基づく準則を定める条例	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	柴田町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	臨時的に任用された職員の分限に関する条例の一部を改正する条例	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	柴田町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町一般会計補正予算	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町介護保険特別会計補正予算	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町水道事業会計補正予算	9.6	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成23年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について	9.13	16	14	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成23年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9.13	16	16	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成23年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9.13	16	16	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成23年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9.13	16	16	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成23年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9.13	16	16	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成23年度柴田町水道事業会計決算の認定について	9.13	16	16	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	柴田町特別会計条例の一部を改正する条例	9.13	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町一般会計補正予算	9.13	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	平成24年度柴田町土地取得特別会計予算	9.13	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

平成24年 議会懇談会を開催

6年目を迎えた今年の懇談会は、町民の皆様を対象とした「一般懇談会」と町内団体等を対象とした「団体懇談会」を開催しました。貴重なご意見、ご要望を議会活動や町政に活かしていきます。

一般懇談会

6会場で有意義な懇談

7月29日、小学校区ごと午後の部3会場、夜間の部3会場で開催しました。懇談テーマ「柴田町議会基本条例」あなたの考えるまちづくりは

政及び議長に申し入れし回答を求めました。その回答を含めた最終的なまとめは、開催会場施設での閲覧や、ホームページなどへの掲載を行うことにしています。

ご意見・ご要望の一部を紹介します。

●(仮称)さくら連絡橋については、賛否両論がありました。

たご意見等を集約して町

●デマンドタクシーが始まるが、中核病院まで行けるようになつたのか。

●楽しく住める町として親子連れで使える広場がない。児童館も少ないので、子育て支援センターを早めに建設してほしい。



●楽しく住める町として親子連れで使える広場がない。児童館も少ないので、子育て支援センターを早めに建設してほしい。

議会基本条例、まちづくりに関する質問・意見・要望等			
項 目	質問・意見・要望等の件数	項 目	質問・意見・要望等の件数
議会基本条例に関すること	19件	公園整備に関すること	3件
まちづくりに関すること	23件	(仮称)さくら連絡橋に関すること	3件
集中豪雨に関すること	8件	総合運動公園に関すること	2件
子育て支援に関すること	7件	その他	15件
		計	80件

その他の質問・意見・要望等	
項 目	質問・意見・要望等の件数
町政に関すること	68件
議会に関すること	39件

団体懇談会

柴田町文化協会と意見交換

8月7日、柴田町文化協会との懇談会を開催しました。

議会活動報告に続いて、文化協会の現状についての説明があり、その後の懇談に入り、活発な意見交換が行われました。

参加者数は、文化協会関係者13人、議員16人の合計29人でした。

●文化協会の作業所がほしい。公民館等のような共同でなく、協会専用の施設として貸してほしい。

●楽屋のついた本格的なホールがほしい。大河原町には800人のえずこホール、白石市には600人のホワイトキューブがあり、柴田町にも500人収容の文化ホールがほしい。

●榎木生涯学習センターのホールは、狭く音響がよくない。つくる時はその辺を考え、最初からきちっとしたものをつくってほしい。

●陶芸グループからは、電気炉の修繕に「対応が悪い」との意見がありました。



一般質問



大坂三男 議員

Q 子ども医療費の助成対象の拡大を

A 来年10月から中学校修了まで通院、入院とも無料にする

本年10月から中学生までの入院時の自己負担分が全額助成されるようになり、対象となる保護者からは喜ばれている。しかし通院費については現在、小学校未就学児までとなっており、中学生の子どもを持つ保護者からは、通院費の自己負担分の無料化を早く実施してほしいとの要望が出されている。

成の枠を広げるべきである。来年度以降どのようなスケジュールで進めるか。 **答** 子ども医療費助成は子育て支援の重要施策と考えている。今までも段階的に医療費助成の拡大を図ってきたが、助成対象をさらに拡大するため、来年10月からは通院の助成対象も中学校修了までとする。



お父さんもわたしも安心

経済的負担がより一層軽減されると考える。 **問** 助成拡大により、町の負担額はどうなるのか。 **答** 町の年間の負担額は約9千600万円となる。 **問** 資格者の登録はどうするのか。また町民への広報はどうするのか。 **答** 最初は受給者証の交付のため、登録申請書を出していたのだが、翌年からは自動更新となる。広報は個人への周知も考える。



平間奈緒美 議員

Q 子どもたちを取り巻く環境整備をどう考えるのか

A 十分に計画を立て、鋭意進めていく



世代を越えて子育て応援

問 ファミリー・サポート・センター事業は昨年からのスタートした。現在の進捗状況は。 **答** 平成24年7月末現在で会員数は80名。活動実績は、平成24年4月から4カ月間で114件の利用。今後は、子育て応援者養成講座や協力会員研修会を開催し、会員を拡大していくとともに、会員のスキルアップ研修やファミサポ通信の発行など会員相互の理解を図っていく。子育てを互いに

支え合う環境づくりと安心して子育てができる地域社会の構築が図られてきているものと実感している。 **問** 保育ママ事業は進んでいない。今後の展開は。 **答** 行動計画の平成26年度実施の目標達成は困難と判断したが、待機児童解消に有効な手段の一つであることから、ファミリー・サポート・センター事業やゆとり保育などの施策の充実や連携により、待機児童解消を図る。

問 子どもたちを取り巻く環境整備をどう考えるのか。 **答** 21年度から学校関係では新築、大規模改修に取り組んでいる。遊具関係も整備を進めており、遅れていた各事業にも着手している。今後もしっかりと計画を立てながら、鋭意進めていく。



舟山 彰 議員

Q 今後の防災・減災対策について

A 町民を対象に自主防災活動の大切さをPRする



東北リコー(株)に設置されている太陽光発電パネル

あの東日本大震災から一年半になる。

町内の住宅、店舗、工場等の耐震化をもっと進めるための方策を考えたとしても良いのではないか。

木造住宅の耐震診断と耐震改修工事助成事業は実施している。店舗や工場の耐震診断は基本的に自己負担だが、県に対し、発展税を使う工場等に対する耐震診断の支援制度を要望している。

私が所属するさくら会で視察研修した岐阜県

瑞浪市では、温暖化対策の大規模災害時の電源確保のため、太陽光発電システムの設置に対する補助に力を入れ、他の地域と比べシステムの設置率は高い。あの東日本大震災やその後の大きな余震で我々は停電で苦労した。そういう経験をした柴田町としても、太陽光発電システムの設置に対する瑞浪市の考え方、やり方を参考にすべきでは。

地域福祉センター、太陽の村へ導入を検討中。町民へは国や県の事業の活用を周知していく。

防災訓練のあり方、やり方について町は今どう考えているのか。

やり方は、メニューは別として、地域の地形や環境には特性があり、各々の地域に合ったやり方で実施できればいいと思う。

今年4月、京都、愛知、千葉において登校中の児童等の列に車が突っ込む事故が発生した。

文部科学省は、通学路の安全確保について大臣の緊急メッセージやスポーツ・青年局長の依頼を発出した。

これを受け町は各学校に対し、どのような対応をしたのか。

校長会を通し通学路の再点検、更に狭隘で歩道のない通学路の点検と報告を求め、その報告を

受け富沢街道交差点、船迫のバイパス1号地下道と2号地下道の3箇所を警察署をはじめ、関係者による緊急合同点検を実施した。

町内各学校の通学路の安全は確保されているのか。

学校を中心に500円は、宮城県公安委員会による速度、車両通行規制をしている。道路整備に伴う交通ルート変化などから規制が必要な箇所についても、調査のうえ交通規

制の依頼をしていきたい。

入間田10号線は、農免道路の開通、北日本電線への通勤などで交通量が増してきている。歩道がなく車の交差もままならない通学路であるが状況把握しているか。

把握はしてないが、交通安全の確保に関する有識者懇談会の意見取りまとめをもとに、地域の特性も考え精査をしていく。

Q 学校の通学路安全確保は十分か

A 地域の特性も考えて対応



高橋たい子 議員



車に気をつけていってらっしゃい



佐久間光洋 議員

Q (仮称)さくら連絡橋は、できるだけシンプルな形がよいと考える

A 橋の形式は、検討委員会で話し合い、方向を定める



展望デッキから見た(仮称)さくら連絡橋建設予定地

問 (仮称)さくら連絡橋のイメージ図は、斜張橋で設計されている。一目千本桜の景観を大切にすると、人工物の構築は最小限にとどめるべき。斜張橋の場合はワイヤーを支える主塔が必ず必要だ。できるだけシンプルな形のものがよいと考える。

答 斜張橋はあくまでイメージとして示したものだ。イメージ図がひとり歩きをした。形式については、公募した9人の

検討委員で話し合いを進めている。その後、検討委員会の意向を尊重し、議会の同意も得て、詳細設計を発注したい。

問 今年の事業で、現時点での進捗状況は。

答 今年度は詳細設計、まず橋の形式を1つか2つで検討し、方向が出たら発注したい。遅くとも11月にはと考えている。

問 イメージ図では、線路をまたいで土手に出て、河川の中に1つの橋脚が建つようだが、堤防に出

さず土手の法面に橋脚を建てる形は検討の対象になるか。

答 河川協議においては、JR境、堤防、川の中の3案で検討した。JR側は、軌道敷に影響が出るということ、河川堤防については構築物を残すことができないなどの条件で困難だ。鷺沼排水路と白石川の合流点のみが設置可能な場所ということとなり、イメージ図のとおりとなった。



加藤克明 議員

Q 定員適正化計画の見直しを

A 今年度中に検討



職員には様々な仕事が求められる

想像を絶する未曾有の大被害と原発事故、突如襲う大雨による被害、町職員の方々には肉体的、精神的にも大きな負担があると想像できる。職員が在職中、倒れることのないよう労働環境については絶えずチェックが必要ではないか伺う。

問 私が平成5年に議員なってから病気で亡くなった現役職員が相当いる。ストレスが原因と思われるが、実態と対策は。

答 現役で亡くなった職

員は10名以上である。引き続き職員の健康管理、健康診断の強化を図る。

問 職員のモチベーションを上げるための方策は。

答 人事評価制度による勤務評定を行い、評価成績の高い職員に一定額を上乗せ支給している。

問 定員適正化計画の見直しを。

答 予想される行政需要に適正な職員数ほどの程度必要か、今年度中に検討を進める。

問 柴田町独自の給与体

系ができないか。

答 周辺市町で人口及び職員数が同規模程度の白石市、角田市を参考に、柴田町としての給与制度改革、現在の6級制の行政職給料表を7級制に移行し、職員の能力及び実績に応じた給料決定を行うことが、職員のモチベーションを上げる最善の方法と考えている。

一般質問

問 5年、10年後の農村・

答 認定農業者は40人、親子で経営し後継者として5人、新規就農可能者3人位である。水田の農地集積率23%、生産組織14組合である。

問 本町の農地集積や農業経営体の現状は。

答 国は、人と農地の問題解決と持続可能な農業実現のため、「人・農地プラン」を実施するとした。これは、新規就農や農地集積などに協力金がある制度である。

Q 人・農地プランの重要な点は何か



水戸義裕 議員

A 自分たちで農村集落の将来を話し合うこと

問 農業について、高齢化対策をどうするか。

答 人と農地の問題を解決するため、将来設計を7月から検討。アンケートや集落単位で話し合い検討を重ね、3月までに第1次プランとして県に申請したい。

問 新規就農者はいるのか。

答 難しいと考える。

問 一集落の農地集積は可能か。

答 現在では困難と考える。



最新の機械を導入。品質向上を図る。

問 水稲以外はどうか。

答 水田が主となる。

問 農地集積についての説明会はどうするのか。

答 自分たちの集落の農業・地域をどうしたいのかを、自分たちで考えていくよう、説明・協議していきたい。



白内恵美子 議員

Q 教育委員会と農政課が協力し食育の推進を

A 連携し前向きに取り組みたい



楽しい給食の時間

問 柴田町の学校給食の抱えている問題は。

答 給食センターの耐震化と老朽化対策、調理システムの変更、アレルギーへの対応が課題。

問 福井県鯖江市では、1・2年生が野菜作り、3年生が大豆の学習と豆腐作り、4年生が味噌作り、5年生は地域の方に手作り料理を食べてもらう、6年生は保護者に手作り弁当を食べてもらう感謝の式を実施している。町内でもできるのでは。

答 町内の小学校では米作りに取り組んでおり、感謝の会を行っている。

問 食育を通して子どもたちの生きる力、学ぶ力、体力がつくことから、全国的に食育に熱心な学校は体力も学力も高い。柴田町でも教育委員会と農政課が協力し、食育推進に取り組むべきでは。

答 農政サイドも教育委員会と連携し前向きに取り組みたい。土日を利用して子どもたちが参加できる施策を考えていく。

問 地産地消を進めるために「地場産品導入協議会」の設置が必要では。

答 生産者がグループを作って出荷できる体制が可能かどうか、前向きに取り組んでいきたい。

問 学校ごとに家庭用炊飯器を使い炊き立てご飯の提供を。

答 検討するが、クリアすべきハードルは高い。



佐々木守 議員

Q 異常気象による災害が多発、現状への対応は

A 国の補助も受けて、復旧工事に取り組む



大量の土砂が流出した西船迫6号公園

今年には特に異常気象による災害が多く発生し、台風に限らず低気圧による集中豪雨が頻繁に発生するようになり、被害も多くなっているのが現状であるが、どのような対応策を検討しているのか。

問 台風4号による災害状況と復旧事業は。

答 被害内容は、床上浸水5世帯、床下浸水32世帯、道路、河川、公園などの土木施設においては27カ所、9千776万円の被害が発生した。8月3日

に激甚災害の指定がなされたので、9月補正で予算を計上し、今後、復旧工事に取り組む。

問 1時間に50ミリの60ミリの集中豪雨に対する根本的な解決策は。

答 仮設ポンプの設置、巡視パトロールの徹底、水門操作や排水機場運転などの相互連携を確実に、冠水被害軽減や早期解消を図っていく。

問 台風4号による豪雨のため、西船迫6号公園周辺の町有林を伐採した

後の土砂が道路に流れた件は。

答 西船迫6号公園と幹線道路の間に側溝を新設し、公園敷地外にできるだけ雨水を流出しないよう、整備計画を進めている。現在、道路に埋設されている雨水幹線管渠に接続している取りつけ雨水管の口径を15センチから30センチにし、排水機能の向上を図る。

東日本大震災後、今後のエネルギーをどうするかについての議論が盛んになっている。世論は原発に頼らない社会に向かって進んでいる。風力・波力・地熱の利用には適さない土地柄の柴田町にできることは、省エネと太陽光発電である。

問 防犯灯を蛍光灯からLEDに替えると消費電力が2分の1以下になる。企業から寄付された1千500個のLEDを使って、防犯灯の光源をLEDに

切り替えてはどうか。

答 寄付されたLEDは今年度から既存防犯灯のLED化に取り組んでいく。本年度末で約260灯がLEDになる。これにより、電気料は1年間で約40万円の節約になる。

問 今進めている地域計画の中で、防犯灯新設の要望が出てくると予想されるが、すべて対応するのか。

答 町道については、行政区の要望等で町が助成する形で進めてきている。

問 公共施設に太陽光発電システムの導入を進めてはどうか。

答 東日本大震災の反省点として、公共施設における非常時の電源確保の問題がある。役場庁舎・太陽の村・地域福祉センターを優先に、平成25・26年に設置するよう進めている。今後建設予定の公共施設については、防災の面からも太陽光発電の設置を検討する。

Q エネルギーの地産地消を

A 防犯灯のLED化と公共施設に太陽光発電システム設置を進める



森 淑子 議員



地下道も明るくて安心



広沢 真 議員

Q 災害被害者救済の 具体策を

A 来年4月から見舞金制度を 創設する



消防団も総出で排水

昨年引き続き今年も自然災害が続いている。これまでは風水害の対策に重点を置いてきたが、災害全般に対応する対策が必要であると考え、以前の質問で検討する旨の答弁をもらったが、その後の対応を伺う。

問 雨水冠水の常襲地域の調査の進捗状況は。

答 船岡西地区と船岡南地区について、11月30日を期限に調査を行っている。

問 調査結果を住民に報告する予定は。

答 年内をめどに行う。

問 災害被害世帯に対する町独自の救済策は。

答 床上浸水被害などに対応した見舞金制度を、来年度から創設する。

問 以前は見舞金ではなく、補助制度を考えたとしていたか。

答 地震、風水害などが頻発する中、補助制度以前に常設の見舞金制度の必要性を考えた。

問 救済制度の対象は、家屋の全壊、半壊、

火災の全焼、半焼と床上浸水を対象として考えている。

問 一部損壊や床下浸水は対象にならないのか。

答 対象範囲は議論になったが、財政上の問題も考慮し含めていない。

問 救済を考えないのか。

答 災害見舞金をベースに、被害規模に応じて一部損壊に対する臨時の補助制度、急斜面崩落の支援制度の三層の制度を考えている。



安部俊三 議員

Q いじめに 万全の対応を

A すべての学校で、 いじめゼロ運動に取り組む



今日も笑顔の絶えない教室

いじめ問題は、学校や教育委員会が日頃どう取り組んでいるか、今後どう取り組むかが問われている。万全の対応策を構築することが大切である。

問 町内学校では、どんな方法でいじめの実態把握をしているのか。

答 定期的アンケート調査を実施。気になる回答があった場合は聞き取りを行い、子どもを観察したり、保護者からも情報を得ながら確認している。また、担任や自立支

援相談員への相談内容からも把握している。

問 県教育委員会が、いじめの有無に関するアンケートを毎月実施するよう提案しているが、本町で取り入れるのか。

答 これまで実施しているアンケートを継続するとともに、提案された学校生活アンケートを取り入れ、早期発見と早期対応に努める。

問 本町でのいじめの現状はどうなっているのか。

答 4月から現在まで、

いじめに関する報告は5件で、4件は解決し、1件は指導継続中である。

問 教育委員会からの各学校への指示で、特筆すべきことはあったのか。

答 今回、町内小中学校すべてがいじめゼロ運動に取り組むこととした。児童生徒の意識化を図り、いじめのない教育環境づくりに全力を尽くすよう具体例をあげて指示をした。



有賀光子 議員

Q 非構造部材の耐震点検対策の実施について

A 点検及び対策を検討する



落下した天井パネル（船迫小学校）

問 平成24年4月26日付の文部科学省からの通知として、学校安全計画に規定することとされている、学校の施設整備等の安全点検の対象や項目は各学校において定められているが、非構造部材の点検の重要性に鑑み、各学校においてその実施に努めると要請されている。各学校の安全点検に非構造部材の点検は実施しているか。

答 船迫小学校の体育館天井の改修は、災害復旧の項目の中に取り入れ復旧をしているが、今後は非構造部材についての耐震点検及び耐震対策を検討する。

問 非構造部材の耐震化とあわせて重要なものは、小中学校の窓ガラスの飛散防止対策である。照明器具の落下、窓ガラスの割れた破片が子どもたちにとって凶器になる。

答 東日本大震災において、船岡小学校、槻木小学校、船迫小学校の3校で窓の一部が壊れた。現在、船迫小学校で校内のガラスが一部破損し、壊れた部分に飛散防止のシートを張って対応している。

今後は、大震災で破損した場所を優先的に、飛散防止フィルムの貼り付けも検討していく。



佐々木裕子 議員

Q 田んぼアートで農村の活性化を

A アートだけでは難しい



青森県田舎館村の田んぼアート

問 遊休農地を利用し、田んぼアートで農村の活性化を考えてはどうか。

答 観光客にお金を落とすとしても合わせで考えなければ、アートだけで難しいと思う。

問 アートだけではなく、今、いじめ問題や自殺、児童虐待またDVと心がすさんでいる時代。共同でものをつくり上げることで、精神的きつかけになればと考えるが。

答 規模は小さいが、花に限り、12集落で子ども会や育成会、老人クラブ

と一緒に各地区で植えており、広がり期待している。

問 林業・農業への積極的参加を考える上で、今後体験事業の計画は。

答 関係者と連携し、木工フェアや農作業体験、雑魚とり、観賞会等を計画。

問 農地や河川敷、山の法面等を利用し、柴田のアピールを行う考えは。

答 ヒマワリで「心一つ」と文字で作ったが、台風で全滅。現在、展望デッキ正面の白石川左岸

に、花木で文字を検討中。

問 展望デッキ下の崩落あとを町アピールの場に。

答 災害復旧で原形に戻すこと、法枠工を施し、安全確保を第一に考える。

問 魅力ある景観、自然を享受する場の整備とは。

答 緑の中に町があり、他に誇れる景観や空間に人が集まる場をつくることである。社会資本整備総合交付金で、(仮称)さくら連絡橋、新栄4号公園を整備する。他に、体験学習、親水公園等の整備もある。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

大坂三男 議員

問 水害や地震などの自然災害が増えている。被害者に対し町で支援する制度を作れないか。

答 従来は片付け応援や物資の支給等をしてきたが、来年から浸水被害等に見舞金を支給する。

舟山 彰 議員

問 しばたスポーツプラン21の見直しで、スポーツ振興担当課設置の実現性はいかに。

答 今後、総合体育館等の大型プロジェクトもあり、組織及び職員体制を検討する。

高橋たい子 議員

問 いのちの森づくりの具体的な内容は。

答 森林の集約化を進め、森林組合と連携し、所有者の利益が上るような事業を進めて行く。

佐久間光洋 議員

問 公共施設の補修や複数年度にわたる事業に、基金の制度を使って運用できるか。

答 平成25年度から新たな補助制度を構築中。自由度の高い活用ができるよう検討する。

水戸義裕 議員

問 結婚相談について、行政の取り組みとして実施する自治体が増えている。本町の考えは。

答 出合いや交流を含む、出合い・ふれ愛教室を7回実施したが、参加申し込みがなく中止。

佐々木 守 議員

問 柴田町地域計画策定を各行政区に依頼している内容は。

答 元気で活力ある住民主体の地域づくりを目指す内容となっている。

白内恵美子 議員

問 新たな図書館を始めるためには、早い段階から図書館長の招聘と住民参画が必要では。

答 職員で学習を重ね、専門家を交えて調査研究し、住民説明会で住民の意見を頂き反映する。

問 全国学力テストで理科離れが明らかになった。理科離れを防ぐため理科消耗品費の増額を。

答 小中学校とも国の基準額を下回っており、各学校からの予算要求に対応していきたい。

問 空き教室利用の児童クラブは狭くて猛暑の夏休みは大変。今後は児童館で行うべきでは。

答 現段階では空き教室が望ましいと考えるが、今後児童館、児童クラブのあり方を検討する。

広沢 真 議員

問 大震災被災者の医療や介護の一部負担金、利用料、保険料の減免を独自に継続できないか。

答 医療費の一部負担、介護利用料の減免は継続する。保険料その他減免は国に要望している。

有賀光子 議員

問 町道槻木72号線は大雨が降ると必ず冠水する。道路も大変走りにくい。整備する考えはないか。

答 今年度、館前堀にかかっている橋梁の補修工事を実施し、3年計画で舗装工事を実施する。

佐々木裕子 議員

問 自主財源として町税は大きな役割を示しているが、今年度の税収状況等はどうか伺う。

答 前年度収納率を達成、現年度分98.17%、全体で92.37%と県平均を上回る収納率。

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会レポート

各常任委員会は
各課の仕事を
調査しています。

総務

■ 調査日 平成24年7月20日

■ 調査事項

- (1) 消防緊急通信指令施設について
- (2) 仙南地域広域行政事務組合滞納整理課の業務内容について
- (3) 廃棄物処理・リサイクルについて
(株式会社JAC行政視察)

資源ごみの回収につながる施設の見学会を

《税務課》

税の滞納整理にかかわる共同事業を請け負う仙南広域の滞納整理課は、平成26年度までの事業として設定されている。

事業継続は意見が分かれるが、必要性の有無について検討を行い、早い時期に方向性を出すよう仙南広域事務組合に要望すること。

《町民環境課》

町民に資源ごみ回収後の状況を知ってもらうことにより、資源回収の向上にも期待がもてる。

各種団体・行政区を対象とした、ごみ処理施設などの見学を、今後も継続して実施すること。

文教厚生

■ 調査日 平成24年7月9日・10日

■ 調査事項

- (1) スポーツ振興室の事務事業について
- (2) 町内体育施設の管理運営状況について
- (3) 町内中学校の管理運営状況について
- (4) 学校給食センターの管理運営状況について

給食センターの円滑な運営と今後の整備計画の検討を

《教育総務課》

学校給食センターの委託業者の変更があった。変更による影響がないよう、円滑な引き継ぎに留意すること。

築30年経過した給食センターの修繕・整備計画を含めた今後のセンターの在り方を早い時期に検討すること。

《生涯学習課》

入間田の生涯教育総合運動場の、普段活用頻度が低い箇所の維持管理に目を配ること。また今後の有効活用を再考すること。

健康づくり事業で好評を得ている事業は継続して実施するとともに、できる限り参加しやすい教室の条件づくりに努めること。

産業建設

■ 調査日 平成24年7月24日・25日

■ 調査事項

- (1) 町有林の現状と管理状況について
- (2) シルバー人材センターの活動状況について
- (3) 仙南・仙塩広域水道（南部山浄水場）について

町有林の適切な管理運営を

《農政課》

町有林の山地災害防止機能などが低下しないよう、適切な維持管理に努め、植樹活動を通じた森林環境教育にも力を入れること。

《商工観光課》

シルバー人材センターの運営について、国の補助金が活用できる事業の情報提供や新たな契約先確保に向けた援助、助言に努めること。

あなたの一言



荒井 けさ子さん
(入間田字新屋敷在住)

●柴田町に住んで良かったことは

7年前に柴田町に来ました。地域の人たちの心のあたたかさを感じられ、今では、地域の世話役もできるようになりました。

●柴田町の好きな風景は

電車から見る蔵王をバックにする一目千本桜のすばらしさに感動しています。

●柴田町に何を望みますか

柴田町全体を見て、特に入間田の道路状況が良くないと思います。子どもたちの安全の確保

からも、道路の整備を望みます。

●議会だよりを読んでいますか

楽しみにして読んでいます。特に一般質問に興味があります。

●議会、議員に何を望みますか

親しみをもって話のできる議会、議員であってほしいです。

未来へ向けて

議員研修会開催



考えてみよう日本の財政

～震災復興と一体改革の考え方～

9月26日、財務省東北財務局長、北村信氏による「考えてみよう日本の財政」をテーマに公開議員研修会を開催しました。

講演では1990年代から税収減し赤字国債が増えた原因が社会保障費の伸びが影響していること、社会保障支出は世界的に中程度だが、国民負担率が低いこと、社会保障制度を支える人口が減り、若い世代の負担増の是正が必要であると説きました。また東日本大震災の復興・復興で、一体改革と消費税の税率引き上げの必要性を説く国の立場を述べ、さらに引き上げ分が社会保障費にだけ回るわけではないことを付け加えました。

質疑応答では「障がい者や高齢者など支援が必要なところに」との要望や、「復興交付金がほかの用途に回されている」という報道について聞かれ、「事実と違う」と放送局に抗議をしているというやり取りもありました。

参加は議員、役場職員のほか町民、他町議員など約50名が参加しました。

編集後記

菊の薫りが、心地よい風になつてそこはかなくた。どうぞ季節となりました。

9月議会の内容を、できるだけ町民の皆様に通じていたきたい一心で編集にあたりました。今の広報委員7人で編集を担当してから、今号で15号目を数えます。これまで多くの人々のご協力をいただきながら発行することができましたこと、あらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

何度編集作業を行っても、試行錯誤を繰り返すばかりですが、7人のメンバーが心ひとつにして作成したことを、少しでもくみ取っていただければ幸いです。

今後とも、ご期待に添える内容になりますよう、努力してまいります。

議会広報常任委員 安部 俊三

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第4回定例議会は

12月10日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

12月10日(月)・11日(火)・12日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載 各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町のホームページ

<http://www.town.shibata.miyagi.jp>